

認知症の症状には、 「中核症状」と「行動・心理症状」 があります。

「**中核症状**」は脳の機能低下による症状で、記憶障害、理解・判断力の低下などが見られます。

「**行動・心理症状**」は身体状況や性格、環境などによって二次的に出てくる症状で、うつ状態、不潔行為などが見られます。

「行動・心理症状」は、環境の調整、周囲の人の理解、適切な対応などで、改善することが多くあります。



認知症の人への対応の心得

“3つの「ない」”

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない

具体的な対応の7つのポイント

- 1 まず見守る
- 2 余裕を持って対応する
- 3 声をかけるときは1人で
- 4 後ろから声をかけない
- 5 相手に目線を合わせてやさしい口調で
- 6 おだやかに、はっきりした滑舌で
- 7 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する